

# 古市ふるさとネット 第166号

古市地区の人口 2月末

男	女	計	世帯	古市幼・小学校
926	1141	2067	893	小学生 101名
+1	-4	-3	0	幼稚園 26名



丹波篠山市波賀野 682-2 (古市コミュニティ消防センター)  
TEL & FAX 079-595-1085

【編集・発行】古市地区まちづくり協議会

ホームページ <http://furuichimachikyo.com/>

## 地域の歴史と伝承を探る (8)

## 暁に燃えた涙

延宝5年(1677)7代目の篠山藩主に就任した松平信庸(のぶつね)は非常に優れた人物で、政治に対する野心も強く、老中職を2年。京都所司代を17年間にわたって歴任したが、それにふさわしい体裁や交際の費用がかさみ、譜代とはいえ5万石の小藩の財政は見る見るうちに底をついていた。老中職と言えよ今の国務大臣で、殆どが江戸詰めため、篠山の民衆との絆が薄く、更に城の本丸石垣が崩壊寸前となり、修復に多額の費用がかさんで、その費用捻出のために農民から年貢に上乗せして借りた御用銀は次の城主信岑(のぶみね)の代には金に換算して6,031両と言う莫大な金額に膨れ上がっていた。

その処置に困った信岑は、処替えという奥の手を用いて亀山へ逃げて行った。そして亀山城主となった信岑は、御用銀は年貢の一部であるから返済の意思のないことを広言した。篠山の領主が松平家から青山家へ移ったのにはそんな事情が隠されていたのだ。生きるための一揆が数多く記録されているが、明和8年(1771)の全藩一揆はその代表的なものであった。

矢代村(南矢代)の肝煎弥助が計画を首謀して、他村の指導者と密かに連絡を取って、大庄屋からのお触れと偽って、収穫の鎌止め(ストライキ)を指導し、年貢の減免を要求して11月16日、監物河原に苙旗(むしろばた)を押し立てた農民が結集した。参加者は5千人を越え、当時の農家戸数の7割を動員して、篠山藩の土台を根底から揺さぶった。藩は直ちに貢租の減免を認め、藩の備蓄米1万6千石を領内の窮民救済に当てた。

しかし、一揆の首謀者の詮議も厳しく、矢代村の弥助は打ち首、永牢田畑没収4名、領分払10名、居村払10名、その他手錠103名、一揆に加わった百姓一人に付き銭1貫文の罰金など、多くの民衆が刑罰を受けている。(上田和夫)



(参考文献) 岡光夫著「近世農民一揆の展開」 船越昌著「暁に涙は燃える」



### 忠兵衛地蔵由来記

その受刑者の中に犬飼村忠兵衛の名前があり、領分払いになった忠兵衛とは一体誰で、一家はその後どうなったのか、上田五兵衛日記(文化四年)(一八〇七)によれば、「山本善兵衛は行年六十有余、高大沢新村十石の百姓なれども、先年強訴の頭取致し、是は善兵衛養父忠兵衛事なり」「肝煎儀衛門殿は山本株忠兵衛後へ舎兄善兵衛養子に参り居り候」とある。つまり、領外へ追放になった忠兵衛の跡へ上田から養子に行つて、その家族の暮らしを支えて犠牲者に報いているのだ。

今は祀る子孫の方が無くなった山本家墓地の真ん中に小さなお地蔵さんが祀られていて、明和九年、□禅童子と刻まれている、一揆のリーダーとなつて領外追放の刑を受け、生まれ在在所を追われていったその頃、建てられた子供の墓であるが、このお地蔵さんに託して、忠兵衛の無事息災を願つたであろう一族の心を思いやる時、平和な時代を生きる幸せを感謝せずには居られない。

# 神戸大学実践農学入門 2022年度スケジュール

神戸大学の主に1年生（全学部を対象）の科目で、5月～1月の間に6回、農村地域の現場で地元農家に弟子入りし、農作物の栽培やむら仕事を体験するなかで、農業や農村生活に関する理解を深めることを目的としています。実習は日帰りで、4～6名の班に分かれて受け入れ農家さんにお世話になります。



- 第1回：5月7日（土）全員田植（吉良農園）  
交流会（古市コミセン）
- 第2回：6月11日（土）
- 第3回：7月16日（土）
- 第4回：10月22日（土）
- 第5回：11月19日（土）
- 第6回：1月21日（土）成果報告会と交流会  
（古市コミセン）

3月31日（木）には、大学生の受け入れを了承いただいた地域の農家さん向けに古市コミセンにて説明会を開催予定です。学生と農作業や地域での行事、暮らしをともにすることに関する期待や不安など意見交換ができればと思います。また受講生も入学して間もない学生達。大学生活、古市での実習への期待とドキドキが入り混じっていることでしょう。説明会ではそんな学生向けのメッセージもお一人ずついただければ幸いです。コロナ禍が続き、交流の自粛が続いてきましたが、田んぼや畑で多世代が協働する新しい古市へのきっかけとなることを願っております。（吉良佳晃）

## 文芸紹介

若葉句会 三月投稿句から

- |            |               |              |                |               |               |               |             |
|------------|---------------|--------------|----------------|---------------|---------------|---------------|-------------|
| 山笑ふ麓に白き石切場 | 北の風受け止める背や山笑ふ | 故郷をくるりと囲む山笑ふ | パーカーを被り春塵やり過ごす | 春塵の置きし農具や出番待つ | 田仕事の人にはっこり山笑ふ | 春めくや老の立居の軽やかに | 登り窯今鎮もりて山笑ふ |
| 酒井 八重子     | 酒井 實          | 秋月 聖子        | 秋月 祐           | 松木 美智子        | 西井 節子         | 松木 みち女        | 小林 敦子       |



## お知らせ

- ◆古市地区まちづくり協議会定期総会
- ◆古市地区自治会長会総会
- ◆古市コミュニティ消防センター  
運営委員会

日時：4月27日（水） 19:00～  
場所：古市コミュニティ消防センター

## 4月の各部の活動予定

### 健康福祉部

- ◆いきいき塾 中止  
（やすらぎ園）
- ◆デイサービス 未定

### 文化活動部

- ◆会報印刷(167号) 4月19日(火) 14:00～
- ◆会報仕分け・発行 事務室、市役所持ち込み
- ◆部会 未定

### 生活安全部

- ◆花事業 活動予定なし

### コミュニティ部

- ◆ふるいち夢カフェ
- ◆健康講座 ※未定
- ◆部会

### 事務局

- ◆運営委員会 4月4日（月）19:00～